

■ 事業背景

近年、国内各地で大規模な災害が多発していますが、温室効果ガスの増加に伴い、今後、気象災害の更なる頻発化・激甚化が予測されています。こうした事態を受けて、本市は2050年の温室効果ガスの実質排出量ゼロ(ゼロカーボンシティ)をめざすことを宣言しました。目標達成に向けて、間伐を行った未利用木材を有効活用した「木質バイオマス発電事業」に取り組みます。

■ 事業内容

2025年までに、「木質バイオマス発電所」を市内に開設します。市内の民有林から得られる間伐材(約100トン)を活用し、年間約57,000kwhを発電します(約20トンのCO₂削減)。本事業を通じて、カーボンニュートラルと持続可能な循環型社会の実現をめざします。



市内では、間伐材等の未利用木材が年間約100トン発生しています

